

2018 年度下期 家賃補助金交付先

2018 年度下期 家賃補助金交付先として、以下の 2 社を選出しました。

< 1 >

交 付 先 株式会社 エコデシック（柏市）
入居施設 東葛テクノプラザ（柏市）
代 表 者 代表取締役 後 藤 秀 樹
業 種 製造業（農業用資材）、植物栽培技術及び設備の開発・販売
業務内容・研究開発内容

【 革新的植物栽培技術を用いた植物工場事業（システム販売・栽培事業） 】

当社は、革新的な栽培技術「A g r o f a c t o r」を基にした、収益性のある未来型植物工場事業を推進中。

野菜栽培事業者への植物工場システムの提供、野菜栽培事業者との共同栽培事業を行いながら、新たな野菜のサプライチェーンを構築していく方針。

※ A g r o f a c t o r : 根に物理的な刺激を与えることで、植物が自ら分泌する成長ホルモンの分泌を盛んにし、光合成を促進させることで、植物の促成栽培を可能にする技術。栽培期間の短縮により、栽培コストが大幅に低減され、植物工場での野菜栽培事業が収益性のあるものになる。

< 2 >

交 付 先 株式会社 アルガルバイオ（柏市）
入居施設 東葛テクノプラザ（柏市）
代 表 者 代表取締役社長 竹 下 毅
業 種 微細藻類およびその抽出成分の製造・販売
業務内容・研究開発内容

【 微細藻類 3,000 株による複数色のカロテノイドと長鎖不飽和脂肪酸の大量生産 】

微細藻類のクロレラは、その様々な栄養素（カロテノイドや長鎖不飽和脂肪酸、いわゆる天然色素やオイル等）を含む総合栄養食として注目されている。

当社は、重イオンビームを用いた先端育種により得られた株を含む約 3,000 株の微細藻類を保有しており、それらのなかから、適切な微細藻類の株を選抜し、カロテノイドや長鎖不飽和脂肪酸を選択的に生産することを可能とした。総合的な栄養素ではなく、特定のカロテノイドのみを多く含む「微細藻類／クロレラ」の培養方法を開発し、特定のカロテノイドを供給することを目的に、量産化に関する研究開発を進めている。